明科いいまちつくろうかい!! 編集・発行

回覧

明科いいまち通信

No. 73

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：☎71-2000（代表）　／　明科公民館：☎62-4605

いいまち通信は、WEBでもご覧いただけます。▶
http://akashina.net/localinfo/newslisi

令和４年９月 15 日 発行

明科うまいもん巡り

第15回　山の中のぎょうざ屋さん

店主　日髙　みゆき

はじめまして、山の中のぎょうざ屋さんです。その名の通り！山の中に 2022 年 7 月 22 日にテイクアウト専門の餃子屋を明科の大足地区にオープンさせていただきました。こんな所になぜ餃子屋があるのだろう！という場所ですが、地域の皆様に「便利なお店ができて良かった。」と言っていただき本当に嬉しいです。そのくらい何もない所ですが、近くに川が流れていて自然が豊かでゆっくり落ち着ける場所です。テイクアウトした餃子をその場でお召し上がりいただけるスペースを用意していますので、お越しの際はゆっくりとくつろいでいって下さい。

餃子は国産の食材にこだわり、皮はモチモチで肉汁がじゅわ～と出る餃子です。小籠包に似ていて味はしっかりついていますので、タレなしでお召し上がり頂けます。安心安全に心掛け、一つ一つ手包みで作らせて頂いています。冷凍餃子はご自宅で、焼き餃子はもちろん水餃子でも美味しく調理いただけます。どちらも、にんにく有りと無しがお選びいただけます。焼き餃子は 10 分程お時間を頂きますので、お電話でのご予約がよろしいかと思います。

上：焼き餃子 6 個入　一人前 400 円（税込み）
下：冷凍餃子 20 個入　一袋 1,200 円（税込み）

飲食スペースでごゆっくりと…

なぜ餃子屋さんをやるのですか？とよく聞かれます。1 年前はまさか自分が餃子屋さんをやるとは思ってもいませんでした。昨年の秋頃に娘の不登校がきっかけで、これではいけない！何かできる事はないかと、いろいろ模索しながらたどり着いたのが餃子屋さんでした。娘のお友達や、ママ友、パパ友、いろいろな方のお力を借りながらなんとかここまで来ることができました。まだ始まったばかりですが沢山の方に支えられ、助けていただいたことを忘れずに、娘と美味しい餃子を作り、真心をこめて接客をしていきたいと思っています。娘には沢山の人と出会いの中で自分の目指す新たな道が見つかればいいなと思っています。2 人で営む小さな餃子屋さんですが、ぜひお越しいただけたら幸いです。

場所は明科駅から北へ向かい、二つ目の信号（東栄町）を右折し、四賀方面へ 2 kmほど進んでいただくと、右側に餃子ののぼり旗が見えてきます。のぼり旗を右に曲がり、坂を下ると見える青い外壁のお店がぎょうざ屋さんです。店舗前が駐車場となっております。ご来店お待ちしております。

山の中のぎょうざ屋さん

- 住所：明科中川手 6680
- TEL：0263-74-3446
- 営業時間：11：00～19：00
  （売り切れ次第終了）
  ※10 月からは 11 時～18 時営業
- 定休日：月曜日　火曜日
  その他 GW、お盆、年末年始
- Instagram：@hida.2525

明科コラム

「大切にしたい祭り・語り伝え」

明科いいまちつくろうかい!! 会員 巻山　圭一

『安曇野市誌』の編纂は、民俗編から着手されています。平成 17 年の大合併では明科町だけが東筑摩郡でしたが、南安曇の人たちからみるとあまり知られていないことも多く、いま明科の自然や歴史、文化や民俗が全市的に注目されているといってもよいと思います。私自身明科にお世話になって 20 数年になりますが、こんな行事や語り伝えがあるんだ、などと大いに驚いたことが数多くあります。そのいくつかを挙げさせてください。

一つ目は何といっても「ろうそく祭り」です。いわゆるお船祭りですが、南安曇地域のお船祭りと違い、夜お船を曳行し、船縁に何本もろうそくを立てて、その明かりで船上の飾り物を「ライトアップ」するのはここ明科だけです。いまは感染症の影響下でなかなか思うように曳行できていないというお話しもお聞きしますが、提燈でも燈籠でもなく、もちろん電気でもなく、「裸ろうそく」というのがすごいではありませんか。ろうそくの飾りつけは潮・上生野・大足平・荻原の四箇所でおこなわれていますが、特に上生野区は平成 22 年に復活したもので嬉しく思ったものです。潮、荻原と相次いで市の無形民俗文化財に指定され、現在は「安曇平のお船祭り」全体として国の選択無形民俗文化財となっています。

【打ち捨てられた柏尾の風の神　H23 撮影】

二つ目は柏尾や清水などでいまでもおこなわれている春彼岸の「風の神祭り」です。「百万遍念仏」といって春彼岸に人々が一堂に会し、車座になって大きな数珠を回して何度も念仏を唱えるという行事が各地でおこなわれますが、ここではそれだけではなく、各家庭でわらと紙で人形を作り、それに災厄を纏わせて崖下に投げ捨てます。柏尾では近年投げ捨てず、お堂脇の崖の突端に並べて立てていますが、意味としては同じです。いま感染症禍でアマビエが信仰されていますが、この「かぜ」の神送りは疫病除けとしてはさらに素朴なものだと思います。北信西山地域から更級西部、筑北、嶺間の山地にかけて、わらを使用して、小正月にわらの作り物を道祖神にかぶせたり、春彼岸にわら人形で災禍から逃れたりする風習が特徴的にみられるようです。

【鬼首大明神　H23 撮影】

三つ目は潮沢区に伝わる物見岩の「紅葉鬼神」の言い伝えです。紅葉鬼神という鬼女は「山姥」の仲間だと思いますが、おもしろいことに八面大王の妻ということになっています。いずれも坂上田村麻呂に退治されましたが、三郷の平林治康先生による『明科の風土と民話　竜の貸しもの』(1978 年刊) という本で広く世に紹介されました。戸隠山麓から北安曇地方、筑北の山地にかけて山姥に関わる伝説がたくさんありますが、「紅葉」という名は明らかに戸隠の「鬼女紅葉」の影響を受けているものと思われます。さきほどの風の神同様、これも筑北周辺の山地の文化なのです。柏尾には「鬼首大明神」が祀られています。ごく最近、安曇野市誌の編纂事務局経由で松本蟻ケ崎高校日本史クラブによる『名九鬼の民俗』(1975 年発行) という報告書のコピーをいただきました。その本に掲載された記事で紅葉鬼神の本名らしきものがわかりました。「沢六隠岐家文書」の牛尾沢開基に関わる記事によると「従雫科九鬼」(読み不明)といい、埋められた首は「科九鬼大明神」として祀られ(「科九鬼」の読みはもしかしてトガクキ？)、そこに「名久鬼村」ができたのだそうです。この記事ではこのような漢字表記がされています。また「雫」は「霧」ですから、潮沢はかつて霧の深いところで、霧を自由に操れるような魔力を持った鬼だったのでしょう。

もとより浅学非才の身です。この文をお読みいただいたかたで「ちょっと違うよ」というようなご指摘があれば、ご教示いただければありがたく存じます。

(巻山　0263-62-6535)

「ゆる～くつながる出会いの場！」・「明科うまいもん市」世代を超えて盛り上がりました！

9月3日(土)に「ゆるつな」(上記タイトル参照)を開催しました。本イベントは、「地域を盛り上げ、人のため地域のために何かしたい！」といった思いを持つ人が集まり、楽しみながらゆる～くつながる場で、月に1回市内各所で開催しています。

今回のテーマは「明科を盛り上げたい！」。明科公民館を会場とし、「明科いいまちつくろうかい!!」主催の「明科うまいもん市」などと同時に開催しました。明科地域で行う活動の PR をしたり、おしゃべりや竪琴の音色を楽しんだり。活動 PR タイムでは、話したい人が多すぎて予定時間を大幅超過！熱い思いがよく伝わり、集まった皆さんと、わいわい楽しい時間を過ごしました。

うまいもん市では朝とれた新鮮な野菜やクラフト作品、テイクアウトランチの販売など、魅力的なものがたくさん！明科高校の生徒さんも、ゲームコーナーなどを出展していました。お子さんからお年寄りまで、いろんな人が楽しく過ごし、賑わいのあるひと時でした。　（市民活動サポートセンター　藤原　亜沙美）

明科公民館からのお知らせ

あかしなこうみんかん　Akashina-Kominkan

← 11月 November　　9月 September

新型コロナウイルスの影響により、下記のイベント等は中止・変更となる場合があります。最新情報については、**明科公民館(☎62-4605)**までお問い合わせください。

実りの秋のコンサート

ピアノ・ヴァイオリン・カホンによる演奏をお楽しみください。

日　時：10 月 10 日（月）午後 1 時 30 分～３時
会　場：明科公民館　講堂
出　演：新井　美耶子さん(ピアノ)　飯田　朱音さん(ヴァイオリン)
三澤　隆志さん(カホン)
曲　目：エトピリカ、リベルタンゴ、川の流れのように　他
参加費：　無料　　**申込み：**　不要

ICT 講座スマホ初級編
～スマホの使い方・楽しみ方を学べる講座～

スマホの使い方を学ぶ初心者向けの講座です。

日　時： 10 月 13 日（木）
①午前９時 30 分～10 時 30 分(インターネットを使おう)
②午前 11 時～正午(Wi-fi とオンラインサービスを使おう)
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： スマホ販売ショップ店員
参加費：　各回 200 円　　**定　員：**15 名(先着順)
申込み： 10 月3日(月)・4日(火)に明科公民館へお電話ください。
TEL: 62-4605（午前9時～午後5時）

いいまちサロン 第103回　明科天田の山 今昔よもやま話

明科を中心に安曇野の里山再生に取り組むあづみの樹楽会さんより、里山の魅力・産物・歴史など縦横に語っていただきます。

日　時： 10 月 25 日(火)午前 10 時～11 時 30 分
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： 渡邊　晃さん(あづみの樹楽会代表)
参加費： 200 円　　**申込み：**不要

干し柿づくり講座

あかしな農業塾との共催です。明科で収穫された柿を使用します

日　時： 10月 27 日(木) 午前9時30分～正午
会　場： 明科公民館　調理実習室
講　師： あかしな農業塾の皆さん
参加費： 700円(材料代含む)　**持ち物：**　エプロン、三角布
申込み： 10月17 日(月)・18 日(火)に明科公民館へお電話ください。
TEL:62-4605(午前9時～午後5時)

明科生活・文化講座
読書のすすめ

今話題の本、図書館推薦の本、図書館の円滑な利用の話や本の朗読、読み聞かせを行います。

日　時： 11 月 10 日(木) 午前 10 時～正午
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： 青木　泰治(明科図書館長)
参加費： 無料　　**申込み：**不要

明科歴史講座
大逆事件の 26 人(第 2 回)

大逆事件で起訴され、有罪になった26人のそれぞれの人物像、生き様について解説します。

日　時： 11 月 15 日(火) 午前 10 時～正午
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： 大澤　慶哲さん(給然寺住職)
参加費： 無料　　**申込み：**不要

明科地域文化祭が開催されます

11 月3日(木･祝)～6日(日)に明科地域文化祭を開催します。大勢のみなさまのご来場をお待ちしております。

11/3(木)～11/6(日) 作品展示

地域のみなさんが制作した菊花、絵画、書道、工芸、写真などの展示を行います。

時　間：午前 9 時～午後 5 時(最終日は午後 3 時まで)

11/3(木) 秋の歌声ひろば

アコーディオンの演奏に合わせてみんなで歌いましょう。

日　時：午後1時～3時

出　演：柴田　勲さん(アコーディオン奏者)

11/5(土) お楽しみサロン

午前は MAB のみなさんによるバンド演奏
午後は地域のみなさんやサークルのみなさんによるピアノ、ダンスなどの発表会を行います。

日　時：午前10時～午後3時

午前の部：午前 10 時～正午

午後の部：午後 1 時～3 時

11/6(日) 芸能発表会

明科芸術文化協会に加盟する団体等の芸能発表会を行います(舞踊、詩吟、ダンス、楽器演奏等)

日　時：午前10時～午後2時

会　場：公民館講堂

作品出展者・ステージ発表出演者募集！

明科図書館からのお知らせ

【読み聞かせ】

【おはなし会】

本の読み聞かせ

明科図書館長
青木　泰治

明科図書館では、毎月「おはなし会」を行っています。

たいてい月末の土曜日の午前中に開き、図書館の司書か読み聞かせのボランティアが本の読み聞かせを行っています。今、コロナ禍で参加者は多くはないですが、小さな子どもさんとお母さんの組み合わせが多い中、年配の大人の方も聞きに来られることもあります。

図書館での読み聞かせは昔は人気がありましたが、今は家でも保育園でも学校でも読み聞かせは毎日のように行っているので、昔ほどには来られる人は多くはないですが、それでも毎回楽しみにしてくれている人もいます。

また、このほかに児童館に来られる人にも月に一度、そして児童館に通ってくる小学生にも二か月に一度読み聞かせを行っています。今は大人対象の読み聞かせも人気が出ているようなので、興味のある方是非お出かけください。また違った時間が楽しめると思いますよ。

電子図書館スタート

すでに報道もされていますが、「市町村と県による共同電子図書館」(名前は『デジとしょ信州』)が８月５日から受付申請が始まりました。安曇野市の図書館の利用者カードで簡単に手続きができます。希望される方は安曇野市の５館の図書館どこででも申請できますので図書館へお越しください。

編集後記

・ 私の好きなキノコ採りのシーズンがやってきました。あと何回秋を迎えられるだろうか、あと何回キノコ採りに行けるだろうか、そんなことを考えるこの頃です。死ぬ時はマツタケを握りしめてニッコリ笑って人生を終えたい。そんなシーンに憧れています。(や)

・柴犬を飼い始めました。家に来て一ヶ月程ですが、みるみるうちに成長し、毎日暴れています。といってもまだ子犬なので何をしても許してしまいます。柴犬最高。(な)

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容　住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など

投稿要項・投稿する際は必ず**氏名・住所・連絡先を記載してください**。
・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法　①明科支所（明科中川手 6824-1）へ持ち込む または
②Ｅメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp

お問合せ　明科いいまち通信編集担当（TEL: 71-2000 / 内線 760-113）